

●令和2年度当初予算編成に向けた知事メッセージ

予算編成にあたり、私のスタンス、また県としての方針を申し上げる。

まずは、基本構想に掲げた「変わる滋賀、続く幸せ」を、それぞれの部局においてそれぞれの施策の中にしっかりと埋め込みたい。

令和2年度は、「健康しがへの挑戦」をメインテーマにしたい。

人・社会・自然の3つの健康を柱とする「健康しが」を、みんなで取り組もう、実現しようと申し上げてきたが、それらをもう一歩進める、もう一段高める、そういう年度にしていきたい。

また、社会的課題について、滋賀県から先導的に解決していく、そういう意欲や志が滲み出した予算を作りたい。特に「山の健康」を打ち出し、すでに様々な取組を始めているが、山や山村は、人口減少、過疎化、高齢化、荒廃などを含めて、多くの課題が先進的に顕在化していると認識している。それらを踏まえ、しっかりと解決に向けた諸政策を作ると同時に、山と、例えば、都市部や琵琶湖とのつながりの中で課題を克服していけるような施策を作り、もって山の知事を目指していきたい。

特に、予算編成に関しては、3つの視点をもって取り組む。

1つ目は、「誰ひとり取り残さない」という視点。

特に、子どもについて、虐待を含め、困難な状況にある生きづらさを抱える子どもたちへの支援、配慮について、施策としてしっかりと構築していきたい。

2つ目は、「わくわくする予算」を作るという視点。

安土城復元プロジェクトを含め、将来への夢を描ける、夢実現に向けた一歩を歩み出し、私たち職員も、みんながわくわくするような予算を作っていきたい。

3つ目は、「世界との繋がり」の視点。

これまでも世界との繋がりキーワードにしてきているが、世界をリードすることについては、例えば、琵琶湖をはじめとした様々なフィールド、環境だけではなくて、健康など、いろんなテーマで考えられることであり、これを視点として強く打ち出していきたい。

今回は、例年の予算編成作業に比べ、約1月半早く、予算編成の取組をスタートする。

働き方改革の観点を踏まえたものであるが、質や熟度というものも求めていきたい。

今年度の事業執行と併せ、来年度、より良い施策を作れるように、みんなで一丸となって予算編成作業に取り組んでいきたい。

長丁場になるが、職員の奮闘を心からご祈念申し上げるとともに、一緒に頑張ることをお誓い申し上げ、私の言葉とします。よろしく願いいたします。